

タイトル「**2023年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS2405		
科目名	判定競技論		
担当教員	田中 光輝		
対象学年	2年,3年	開講学期	後期
曜日・時限	木 1		
講義室	1307	単位区分	選,選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基礎		
科目小分類	3 専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E（学識・専門技能）専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-G〔状況把握力・判断力〕自らの置かれた状況、及び自己が帰属する 集団の内外の状況を的確に把握し、適切に 対応することができる。 DP3-H〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排 除するための内省をもって、問題・課題を 合理的に解決することができる。 DP4-F（探究力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I（理解力・分析力）文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識・専門技能（30%） F1 探求と論拠（5%） F2 探求力・課題解決力（15%） G1 状況把握(30%) I1 理解力・分析力（10%） J2 想像的思考（10%）		
教員の実務経験	2003年から2016年までプロサッカーコーチとして、日本サッカー協会およびプロサッカークラブ（Jリーグ）で育成年代を対象に現場で指導を行うと同時に、日本サッカー協会公認の指導者養成インストラクターとして、指導者の養成に携わっています。これらの経験をもとに、本授業では対話を通して学習者本人の実践やコーチングの能力向上の手助けを行います。（第2、3、6、7、8回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期～3 発展期		
科目概要・キーワード	本授業は、審判員が選手個々の動きかたの有効、無効の判定を行って勝敗を分ける判定競技に分類される各種目（球技、武道など）の競技特性、競技システムとルール、競技会システム、審判法の特長、判定競技における技術、体力、などに加え、特に戦術についてはその構造や個別性、個性発生及び獲得と修正など個々の種目のトレーニング計画などに関する学習を行う。これによって判定競技に通底する特性を理解し、判定競技を広い視野で捉え、自らの実践やコーチングに役立てることを目的とする。授業形態は講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンラ		

	イン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 判定競技・トレーニング方法・トレーニング計画								
授業の趣旨	■副題 判定競技に分類される各種目（球技、武道など）の魅力や社会的意義、歴史などの特性について、また競技力に求められる前提条件やスポーツが発展した経緯と現代スポーツの考えなどについて学習します。 ■授業の目的 判定競技の持つ特性を理解し、多角的な視点で判定競技を観ることができるようになることを目的とします。 ■授業のポイント 判定競技を授業テーマの資料、視聴覚教材から「授業ノート」を作成し、反省的議論を通じて、自身の競技力向上に役立つ知識を深めます。								
総合到達目標	■判定競技の「社会的意義」、「歴史」、「競技力構造」を習得するために、判定競技に関する様々な知識を理解し、得られた知識を利用して試合の分析、課題の抽出を行い、自身のコーチングに役立つ能力を習得する。 ・自身の専門種目のみならず、判定競技の意義について理解し、説明できる。（第2・3回、第9・10回） ・判定競技の歴史について理解し、説明できる。（第4・5回、第11・12回） ・判定競技の競技力構造やルールについて理解し、説明できる。（第6・7回、第13・14回） ・判定競技の種目特性や技術・戦術について理解し、課題にし即した自分の考え述べることができる。（第8・15回）								
成績評価方法	（成績評価手段）リアクションペーパー12回、課題レポート2回、まとめレポート1回 ※授業の進行具合により変更する場合がある。 ■授業レポート（70%）適応ルーブリック E1、I1 （評価の観点）講義の内容を踏まえ、自分なりに内容を再構築できているかを量と質で評価します。 （フィードバック）提出後に講評を行います。 ■課題レポート（20%）適応ルーブリック F2、I1 （評価の観点）課題に対して論理立てて明確に自分の考えを示すことができているかを量と質で評価します。 （フィードバック）講義の中で、解説と模範解答を示し、関連知識をおさらいします。 ■まとめレポート（10%）適応ルーブリック E1、F2、I1 （評価の観点）設問に対して適切に回答しているかを量と質で評価します。								
履修条件	特にありません。								
履修上の注意点	特にありません。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業の概要 授業の進め方や評価方法について説明を行う。また判定競技の概要についても学習する。 ③予習（120分） シラバスを読み、講義全体の流れを理解しておく。また自身の競技種目に関する専門書・論文を読んでおく。 ④復習（120分） 専門以外の競技種目に関する専門書を読み、共通点や相違点についてまとめておく。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 球技の社会的意義① ②授業の概要 担当者の実務経験を踏まえて、判定競技である、球技の概念と特徴について学ぶ。球技の社会的な問題について検討し、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） ③予習（120分） 専門書や論文を読み、授業テーマについて自分の考えをまとめておく。 ④復習（120分） 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 球技の社会的意義② </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業の概要 授業の進め方や評価方法について説明を行う。また判定競技の概要についても学習する。 ③予習（120分） シラバスを読み、講義全体の流れを理解しておく。また自身の競技種目に関する専門書・論文を読んでおく。 ④復習（120分） 専門以外の競技種目に関する専門書を読み、共通点や相違点についてまとめておく。	2	①授業テーマ 球技の社会的意義① ②授業の概要 担当者の実務経験を踏まえて、判定競技である、球技の概念と特徴について学ぶ。球技の社会的な問題について検討し、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） ③予習（120分） 専門書や論文を読み、授業テーマについて自分の考えをまとめておく。 ④復習（120分） 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。	3	①授業テーマ 球技の社会的意義②
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業の概要 授業の進め方や評価方法について説明を行う。また判定競技の概要についても学習する。 ③予習（120分） シラバスを読み、講義全体の流れを理解しておく。また自身の競技種目に関する専門書・論文を読んでおく。 ④復習（120分） 専門以外の競技種目に関する専門書を読み、共通点や相違点についてまとめておく。								
2	①授業テーマ 球技の社会的意義① ②授業の概要 担当者の実務経験を踏まえて、判定競技である、球技の概念と特徴について学ぶ。球技の社会的な問題について検討し、受講生がそのことについて説明できる。（E1、F2、I1） ③予習（120分） 専門書や論文を読み、授業テーマについて自分の考えをまとめておく。 ④復習（120分） 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。								
3	①授業テーマ 球技の社会的意義②								

	②授業の概要 担当者の実務経験を踏まえて、球技の分類、役割などについて学ぶ。球技の社会的な問題について検討し、受講生がそのことについて説明できる。(E1、F2、I1) ③予習(120分) シラバス、前回のノートを読み、球技の社会的意義について振り返りをし、身近な例を専門の競技種目やそれ以外の競技種目で探してまとめる。 ④復習(120分) 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。
4	①授業テーマ 球技の歴史① ②授業の概要 球技の諸形式と初期の成り立ちについて学ぶ。初期の球技はどのように発生し形式化してきたかを学習し、受講生がそのことについて説明できる。(E1、F2、I1) ③予習(120分) 自身の専門種目の歴史についての専門書および論文を探して読んでおく。 ④復習(120分) 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。自身の専門種目の歴史についてまとめる。
5	①授業テーマ 球技の歴史② ②授業の概要 近代の球技の成立と普及について学ぶ。球技はどのような経緯で発展してきたかを学習し、受講生がそのことについて説明できる。(E1、F2、I1) ③予習(120分) 専門種目以外の歴史について専門書および論文を探して読んでおく。 ④復習(120分) 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。
6	①授業テーマ 競技力構造① ②授業の概要 担当者の実務経験を踏まえて、球技の競技力構造の科学理論について学ぶ。競技力の特徴やその構造、さらに要因について学習し、受講生がそのことについて説明できる。(E1、F2、I1) ③予習(120分) 競技力構造とは何かということを調べておく。また参考図書を読んでおく。 ④復習(120分) 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。自身の専門種目の歴史についてまとめる。
7	①授業テーマ 競技力構造② ②授業の概要 担当者の実務経験を踏まえて、試合の競技力構造について学習する。また個人の技術的・戦術的能力について理解を深め、受講生がそのことについて説明できる。(E1、F2、I1) ③予習(120分) 自身の競技種目の個人・集団の技術的・戦術的能力について調べておく。 ④復習(120分) 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。
8	①授業テーマ 球技まとめ ②授業の概要 担当者の実務経験を踏まえて、これまで学んできた球技について振り返るとともに、まとめレポートを行う。(E1、I1) ③予習(120分) 授業内容を振り返り、不明点を確認しておく。 ④復習(120分) 授業内容をまとめる。

9	①授業テーマ 武道を学ぶ意義 ②授業の概要 武道を学ぶ意義について考える。武道での生命を賭けて何かやりとげようとする精神と、現代武道を考察することで、自身の競技精神に役立てる。(I1、I2、I3) ③予習(120分) 専門書や論文を読み、授業テーマについて自分の考えをまとめておく。 ④復習(120分) 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。
10	①授業テーマ 武道とは何か ②授業の概要 武道とは何か。武術はルールの無い殺傷を目的とした術、武道は一定のルールのもとで安全性に留意して行われた特徴について考え、スポーツの歴史と各自の専門競技のルールの誕生などを授業レポートにまとめる。(I1、I2、I3) ③予習(120分) 専門書や論文を読み、授業テーマについて自分の考えをまとめておく。 ④復習(120分) 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。
11	①授業テーマ 武道のスポーツ化 ②授業の概要 武道のスポーツ化を学習を考える。各競技において競技内容が時代とともに変化している内容を捉え、各競技での固有の価値と、今後指導者として充実するために必要な要素について授業レポートにまとめる。(I1、I2、I3) ③予習(120分) 専門書や論文を読み、授業テーマについて自分の考えをまとめておく。 ④復習(120分) 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。
12	①授業テーマ 道の源流 ②授業の概要 道の源流を考える。終生修業として確立したのは、武術が文化的な交流を通じて、思想的に発展していった意義と、スポーツ化の変容から「フェアプレー」が受け継がれた道のりを考察し、自身の専門競技を含め各スポーツの歴史を授業レポートにまとめる。(I1、I2、I3) ③予習(120分) 専門書や論文を読み、授業テーマについて自分の考えをまとめておく。 ④復習(120分) 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。
13	①授業テーマ 武道の技術体系 ②授業の概要 武道の技術体系について考える。受講生が武道の基礎となる礼法及び姿勢の鍛錬法を学習することで、自身の競技指導に役立てる。(I1、I2、I3) ③予習(120分) 専門書や論文を読み、授業テーマについて自分の考えをまとめておく。 ④復習(120分) 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。
14	①授業テーマ 武道の国際化 ②授業の概要 武道の国際化について考える。スポーツの発展と国際化の在り方や、スポーツが直面している課題等を抽出して、授業レポートにまとめる。(I1、I2、I3) ③予習(120分) 専門書や論文を読み、授業テーマについて自分の考えをまとめておく。

	④復習（120分） 授業内容を書き取ったノートを見直す。また疑問点やさらに詳しく知りたい項目があれば、専門書および論文を読み、必要ならノートを加筆修正する。
	15 ①授業テーマ 武道のまとめ ②授業の概要 これまで学んできた武道について振り返るとともに、まとめレポートを行う。（E1、I1） ③予習（120分） 授業内容を振り返り、不明点を確認しておく。 ④復習（120分） 授業内容をまとめておく。
関連科目	判定競技論演習（SSCS3405）
教科書	特にありません。
参考書・参考URL	ボールゲームの指導辞典（G・シュティーラーほか〔著〕、唐木國彦〔監訳〕、大修館書店）
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 必要な時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜2限。それ以外の時間については、教員と予約日時を相談後、研究室で対応します。
研究比率	

